

防災コラム

これまでの防災コラム
はこちらから▶



総務課危機管理室 ☎(52)3744

地震に備えましょう

地震による被害には、建物の倒壊、火災の発生、土砂崩れ、液状化現象等があります。そのほかには、落下物や転倒した家具にぶつかり、被害に遭われたケースが数多くあります。自分自身や家族を守るために、身の安全の備えや初動対応の備えを行っておきましょう。また、いざという時にすばやく身を守るために、3つの安全確保行動をとる「シェイクアウト訓練」で練習を重ねておく必要があります。



地震発生時のタイムライン

緊急地震速報	すぐに身を守る行動をとる 身近にあるもので頭を保護し、倒れてくるものから身を守る。	
地震発生	最初の大きな揺れは約1分間	
数分	揺れがおさまったら ●火元の確認 火を使っているときは、あわてずに火の始末 ●脱出口の確認 扉や窓を開けて、出口を確保 ●靴・スリッパをはく ガラスの破片や散乱物から足を守る	
5分	みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ ●家族の安全を確認 ●電気のパレーカーをおろす ●ガスの元栓を閉める ●非常用持ち出し袋を用意 すぐに持ち出せる場所に置いておく	
10分	高齢者世帯など隣近所の安否確認 高齢者の世帯、要配慮者のいる世帯などには、積極的に声をかける	
数十分	協力して初期消火、救出・救護活動を 周囲に応援を呼びかけて、できるだけ複数で行う 自身の安全を第一に、無理な救出・消火活動は行わない	
数時間～	自宅と周辺の被害状況を確認 自宅とその周辺が無事であれば、環境変化が比較的少ない自宅避難生活する 自宅にいられない場合は、避難所に避難	

地震の揺れを感じた場合、あるいは緊急地震速報を見聞きした場合は、あわてずにまずは身の安全を確保してください。

そして、落ち着いてテレビやラジオ、携帯電話やスマートフォンのワンセグやネット通信機能等、様々な手段を使って正確な情報の把握に努めましょう。



地震の時はどのように行動したらいいか？

家庭で屋内にいるとき

あわてて外に飛び出したりせず、頭を保護しながら大きな家具から離れ、丈夫な机の下に隠れる。



集客施設にいるとき

あわてて出口や階段に殺到せず、揺れに備えて安全な姿勢をとり、施設の係員等の指示に従う。



屋外にいるとき

ブロック塀の倒壊や自動販売機の転倒、ビルの壁・看板・窓ガラスの落下に注意し、これらのそばから離れる。



その他

- ◎落石やがけ崩れに注意し、できるだけその場から離れる。
- ◎鉄道・バスに乗っているときは、つり革や手すりにしっかりつかまる。
- ◎エレベーターは最寄りの階に停止させて、すぐに降りる。

自動車運転中

あわてて急ハンドルや急ブレーキをかけず緩やかに速度を落として、ハザードランプを点灯し周りの車に注意を促しながら、道路の左側に停止する。



【「緊急地震速報」訓練放送日時】 11月5日(水) 10時頃から1分程度

【「シェイクアウト訓練方法】 家庭や職場で、訓練の開始合図とともに、身を守る行動を1分間とってください。

◆3つの安全確保行動◆

1. 揺れで倒される前に姿勢を「**まず低く**」
2. 机等に潜り、落下物から「**頭を守り**」
3. 低い姿勢、頭を守った状態で、揺れが収まるまで「**動かない**」



※画像提供「効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議」

防災行政無線

災害情報や緊急の注意喚起を行う際に放送を行います。聞き直したいときは、防災行政無線テレホンダイヤルへお電話ください。

☎ 0238(52)5101

※通話料がかかります。

※放送後24時間までの内容が確認可能です。

